

## 令和7年度 主な事業実績

### 1 魅力発信・販路開拓支援事業

大分県のフラッグシップ「坐来大分」を活用し、世界農業遺産や地域産品の魅力をPRすることにより、認証品や応援商品の販路開拓・拡大につなげた。また、七島蘭ワークショップでは、GIAHS ガイド・浄泉寺住職 中野 浄昭氏と七島蘭工芸作家 岩切 千佳氏が講師として参加した。

〈坐来大分メニューフェア〉

日程：令和7年11月4日（火）～28日（金）

使用食材：原木椎茸（国東）、車えび（姫島）、どじょう（宇佐）等

来客数：ランチ473名、ディナー725名



〈坐来大分 七島蘭ワークショップ〉

日程：令和7年11月22日（土）

講師：GIAHS ガイド・浄泉寺住職 中野 浄昭氏、七島蘭工芸作家 岩切 千佳氏

内容：中野氏による世界農業遺産・七島蘭についての講演、岩切氏指導による七島蘭釜敷き作り製作体験、ランチコース料理提供

参加者数：20名



### 2 広域連携共同事業

国内の認定地域が共同で事業を行うことで、相乗効果による農業遺産の認知度向上や交流人口の拡大、地域産品の販売促進を促すとともに、農業遺産の認定効果の更なる向上を図るため、九州の認定地域である熊本・宮崎・大分の3県共同による「九州3県農業遺産フェア」を幹事県として開催した。

### 〈九州3県農業遺産フェア〉

日程：令和7年11月24日（月・振休）

場所：イオンモール福岡

内容：農林水産物・加工品の販売、パネル展示、  
ガラポン抽選会、VR体験会等

参加地域：大分県国東半島宇佐地域、熊本県阿蘇地域、  
宮崎県高千穂郷・椎葉山地域、  
宮崎県宮崎市田野・清武地域、宮崎県日南市

大分県ブースでの販売物：

- ・みかん、ぎんなん（日出町）
- ・ぼりんとう（揚げ菓子）、もろみ味噌、混ぜご飯（かしわめし）の素（宇佐市）
- ・もち麦、蒸しもち麦（国東市）
- ・車えびかりんとう（姫島村）



### 3 地域活力支援事業

農耕文化の保全・継承や地域づくり活動の促進を図るため、農耕に関する伝統芸能の保存や世界農業遺産を活用した地域の自主的な活動等を行う団体に対して支援を行った。これらの支援を通じて、地域の活動団体との連携を強化するとともに、幅広い情報発信が期待できる。

（採択件数：10件）

- ・田染荘御田植祭・収穫祭整備事業（豊後高田市）
- ・若宮八幡神社秋季大祭・裸祭り継承事業（豊後高田市）
- ・豊後高田市世界農業遺産ブランド強化・活用事業（豊後高田市）
- ・世界農業遺産「田染荘」を若者と未来へ繋ぐ映像制作事業（豊後高田市）
- ・豊後高田そばの全国PR活動 in そば打ち甲子園（豊後高田市）
- ・田染地区観光促進事業（豊後高田市）
- ・宇佐市安心院町龍王地区における世界農業遺産を感じられる散策コースづくり（宇佐市）
- ・大分空港での「七島藺の日」のPR事業（国東市）
- ・七島藺の日10周年記念「作品展とワークショップ」（国東市）
- ・ジャコウアゲハ継承プロジェクト（国東市）



そば打ち甲子園に出場した  
高田高校チーム（豊後高田市）



散策コースに設置された  
説明看板（宇佐市）

## 4 認定市町村支援事業

認定市町村による取組の拡大を図るため、世界農業遺産を活用した事業に対する支援を行った。市町村と世界農業遺産のPRを併せて行うことで、より効果的な周知活動を実施できた。

〈実施内容〉

豊後高田市：田染地区支援事業（イルミネーションイベント支援、新施設PR）

宇佐市：両合棚田地域創生プロジェクト

国東市：七島藺の日PRイベント、

PRグッズ作成

日出町：県内外イベント出展、

食育及び地産地消推進事業



七島藺の日PRイベント（国東市）

## 5 次世代継承教育事業

### (1) 小学生向け教材本(マンガ本)の配布

世界農業遺産を分かりやすく勉強し、郷土の持つ魅力に興味関心を持ってもらうため、小学生向け教材本(マンガ本)を認定地域内の全小学校57校の5年生(1,194名)に配布し、各学級で授業を行い、次世代への継承の取組を行った。



小学生向け教材本

### (2) 小学生向け作文コンクール

認定地域内の小学校5、6年生を対象に作文コンクールを実施した。入賞作品集は協議会ホームページや教育庁ホームページに掲載。

応募点数：23校・137点(入賞6点)

最優秀賞作品：「世界にほこれるしいたけ作り」

(豊後高田市立戴星学園 6年 城戸 夢築)



作文コンクール表彰式

### (3) 中学校特別授業

世界農業遺産パンフレットを認定地域内の中学校の1、2年生(1,238名)に配布し、学校ごとに、地域の農業従事者や行政関係者などを講師とした特別授業を実施することで、次世代への継承の取組を行った。

## 6 高校生聞き書き事業

世界農業遺産に認定された郷土の価値、すばらしさを感じてもらうため、県内の高校生が、農業従事者などの「地域の名人」を訪ね、その知恵や工夫、思いなどをインタビューして取りまとめる「聞き書き」を平成26年度から継続実施している。また、令和6年度に「聞き書き」を実施した生徒による体験発表会を開催し、修了証の授与式を執り行った。

〈令和7年度聞き書き〉

実施者：生徒69名（11校）、  
名人20名（農業、林業、水産業等）

内 容：研修会（2回）、名人へのインタビュー  
（2回程度）、文章の書き起こし  
作品集の作成・配布



聞き書き研修会

〈聞き書き発表会（令和6年度聞き書き実施校）〉

日 程：令和7年7月10日（木）

場 所：宇佐文化会館 ウサノピア

参加者：会場参加 約240名、宇佐産業科学高校全1年生参加

発表校：高田高校、宇佐高校、大分高校、別府翔青高校、日出総合高校、国東高校、  
大分舞鶴高校、杵築高校、宇佐産業科学高校、大分上野丘高校、中津南高校



## 7 大学連携魅力発信事業

別府大学と連携し、世界農業遺産体験学習の単元化やPR活動を行った。体験演習授業では認定地域を回ってのフィールドワーク、田染荘での田植えや稲刈りなどを通して、将来を担う若い世代が世界農業遺産の価値や地域について学んだ。

また、学習成果の発表や大学の特色を生かした活動、イベントでの広報活動を行うことで、その魅力を発信した。



大分県農林水産祭でのPR

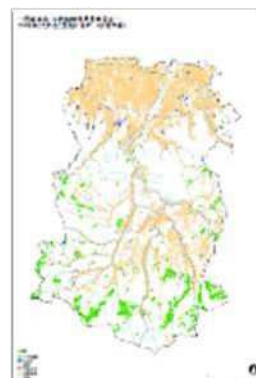
## 8 農林水産業システムを補完するための調査研究事業

(1) モニタリングの助言事項に基づく調査研究

令和3年度に実施した農林水産省専門家会議によるモニタリングの助言事項に基づく学術的データの補完を図るため、令和6年度に引き続き調査研究を実施した。

実施者：(一財)日本造園修景協会大分県支部

内 容：「クヌギ林とため池がつなぐ農林水産循環」を具現化する一助として、国東半島宇佐地域世界農業遺産の寄藻川流域における生物調査結果と GIAHS 要素との関連性についての考察をする。また、将来的に寄藻川流域に位置する諸団体が本調査の成果等を活用した活動を行えることを目指す。



寄藻川が流れる宇佐市

(2) 保全・活用のための調査研究

協議会有識者で構成する「国東半島・宇佐 GIAHS 専門家会議」による研究テーマ及び実施方法の決定による調査研究を実施。(3件)

① 国東 GIAHS 地域の景観管理に向けた人材育成及び知識の構築

実施者：立命館アジア太平洋大学サステナビリティ観光学部  
ヴァファダリ カゼム 教授

② ニホウサンショウウオの保全技術の確立と生息適地の解明

実施者：大分大学理工学部 永野 昌博 准教授

③ 大分県国東半島における河川・地下水の流出負荷に関する研究

実施者：別府大学食物栄養科学部 齋藤 圭 講師

## 9 デジタルマーケティング推進事業

若年層の認知度向上を図るため、ターゲット世代がよく利用する SNS (Instagram) を活用した情報発信を行った。

(1) 定期的な情報発信による Instagram アカウントの運用  
世界農業遺産に関連する情報を月 10 本ペースで投稿  
(R7.4~12月 80 本投稿)

実績：フォロワー数 2,013→3,318

(令和 7 年 2 月から 1,305 人増) R8.2.3 時点

(2) プレゼント企画の実施

ユーザー参加型企画として、月 1 回のペースで、認定地域内の飲食店と連携したプレゼント企画を実施 (R7.4~12月 11 回 ※クリスマス企画含む)。

(3) フォトコンテストの実施

ユーザー参加型企画として、認定地域内で撮影された写真を対象とした「世界農業遺産で写そう！ふおとコンテスト」を開催。



応募期間：令和7年5月1日（木）～9月30日（火）

応募総数：115点

入賞作品：17点

作品展：令和8年2月下旬～3月中旬（るるパークにて開催予定）



カメラ部門 グランプリ作品



スマートフォン部門 グランプリ作品

## 10 情報発信事業

- (1) アクロス福岡の展示企画や大分トリニータホームゲーム、大分県農林水産祭等の機を捉えて、パネル展示やパンフレット配布、七島藺ミサンガづくりのワークショップを行い、世界農業遺産のPRを行った。

〈アクロス福岡展示企画出展〉

日程：令和7年7月22日（火）～7月27日（日）

※26日（土）・27日（日）に七島藺

ミサンガづくりワークショップを実施

場所：アクロス福岡 1階 コミュニケーションエリア

実績：七島藺ミサンガづくりワークショップ

体験人数 200名

ワークショップ講師：七島藺工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



〈大分トリニータホームゲームブース出展〉

日程：令和7年8月9日（土）vs カターレ富山戦

場所：クラサスドーム大分

実績：七島藺ミサンガづくりワークショップ

体験人数 200名

ワークショップ講師：七島藺工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



〈大分県農林水産祭（おおいたみのりフェスタ）出展〉

日程：令和7年10月18日（土）・19日（日）

場所：別府公園

実績：パネル展示、ノベルティの配布、七島藺織機の実演

協力：くにさき七島藺振興会



(2) 世界農業遺産マルシェ in るるパーク

るるパーク（大分農業文化公園）にて、認定市町村の農産物やグルメを楽しめるマルシェイベントを2日間にわたって開催した。各日20以上のテントやキッチンカーが並んだほか、地域のマスコットキャラクターも登場し、2日間で約7千人が訪れるイベントとなった。



〈日程〉 令和7年10月4日（土）・5日（日）

〈場所〉 るるパーク（大分農業文化公園）みどりの広場

(3) GIAHS ガイド育成研修

教育旅行プログラムや体験素材集プログラム実施時に、世界農業遺産全般と各体験プログラムの説明ができるガイドを育成するため、研修会を実施。

〈第1回〉

日程：令和7年12月10日（水）

会場：国東市

内容：「つなぐ棚田遺産」密乗院の棚田ウォーク



〈第2回〉

日程：令和8年2月17日（火）・18日（水）

内容：国東半島宇佐地域の農村民泊について（農村民泊研修）

〈第3回〉

日程：令和8年3月15日

会場：豊後高田市

内容：豊後みさき太鼓体験（指導・実演）

## 1.1 その他

### (1) PR 動画完成知事報告

令和6年度に作成した国東半島宇佐地域世界農業遺産PR動画について、佐藤 樹一郎知事への完成報告会を行った。報告会には林 浩昭会長のほか、動画を手がけた衛藤 昂監督がカナダよりリモートで出席。PR動画はその後YouTubeで一般公開され、国内外の動画コンテストにも出品を行った。

〈日程〉 令和7年4月23日（水）



### (2) 別府東ロータリークラブ「こども未来授業」

別府市内の小学5・6年生を対象に、協議会事務局員による世界農業遺産の解説、PR動画の上映、動画を手がけた衛藤監督による講演を実施。

〈日程〉 令和7年6月14日（土）

〈会場〉 別府ブルーバード会館

〈参加者〉 約60名



### (3) 「おんせん県おおいたオンラインショップ」応援商品特集ページ開設

県公式ECサイト「おんせん県おおいたオンラインショップ」の運営事業者と連携し、応援商品の特集ページを作成。取り扱っている応援商品の一覧に加えて、農業遺産の紹介ページも作成していただきPRを行った。

〈公開時期〉 令和7年7月～



商品紹介ページ



農業遺産解説ページ

(4) 大阪・関西万博

九州7県の合同出展期間中、大分県ブースに世界農業遺産コーナーを設置。PR動画の上映のほか、パネル、七島蘭工芸品、原木シイタケなどの展示を行った。また現地では協議会事務局員が常駐し、インバウンドを含む来場者に解説を行った。

〈日程〉 令和7年9月3日（水）～9月5日（金）



(5) 大分県産加工食品トレードショー

県内事業者とバイヤーとのハイブリッド型商談会に、世界農業遺産ブースを出展。豊後高田市より2社（六郷満山日本遺産推進協議会、ベジファーム合同会社）が参加した。

〈日程〉 令和7年9月17日（水）

〈場所〉 別府ビーコンプラザ



(6) 第9回東アジア農業遺産学会（ERAHS）

日中韓で設立された学術交流と農業遺産認定地域の交流を目的とする学会。研究者のみならず、農業遺産認定地域の行政担当者や農業関係者などが参加した。当協議会からは、立命館アジア太平洋大学のヴァファダリ カゼム教授が登壇発表者、林 浩昭会長がポスターセッションの発表者としてそれぞれ参加した。

日程：令和7年9月17日（水）～20日（土）

場所：韓国 済州島（チェジュ島）



(7) 別府大学「日本遺産サポーター大学」登録記念シンポジウム

別府大と六郷満山日本遺産推進協議会が主催したシンポジウムに、当協議会も共催という形で参加。令和7年度の調査研究事業の採択研究実施者である齋藤 圭講師が「世界農業遺産」と「日本遺産」に学ぶ水環境史の再構築」と題し登壇発表を行ったほか、林 浩昭会長も登壇しコメントを行った。

〈日程〉 令和7年10月4日（土）

〈場所〉 別府大学



(8) おんせん県おおいたツーリズム商談会

別府ケーブルラクテンチで開催された県内外観光事業者とのマッチング商談会に参加。協議会ブースには8社の旅行会社が訪れ、事務局員が世界農業遺産の内容や観光ポイントについてのPRを行った。

<日程> 令和7年10月15日(水)

<場所> 別府ケーブルラクテンチ



(9) 世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」認定10周年記念式典

和歌山県みなべ町で開催された記念式典とパネルディスカッションに、立命館アジア太平洋大学のヴァファダリ カゼム教授が参加した。

<日程> 令和7年10月17日(金)

<場所> 和歌山県みなべ町

(10) 高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産認定10周年記念シンポジウム

宮崎県の高千穂郷・椎葉山地域で開催された記念シンポジウムに、協議会から事務局員が参加した。

<日程> 令和7年10月31日(金)

<場所> 宮崎県高千穂町



(11) 世界農業遺産「清流長良川の鮎」認定10周年記念シンポジウム

岐阜県で開催された「次世代を担う若者の活躍シンポジウム」に、協議会から林 浩昭会長、事務局員、認定市町村担当者が参加した。

<日程> 令和7年12月20日(土)

<場所> 岐阜県各務原市



(12) 愛媛南予の景観と世界農業遺産に関する国際シンポジウム

世界農業遺産認定に向けてさまざまな取り組みを展開している愛媛県南予地域が開催した国際シンポジウム。先進事例地域として、当協議会の林 浩昭会長が登壇し、国東半島宇佐地域の事例紹介発表を行った。

<日程> 令和8年1月24日(土)

<場所> 愛媛県八幡浜市

